

会 議 録

会議名	令和7年度木更津市自転車活用推進委員会委嘱状交付式 及び第1回木更津市自転車活用推進委員会		
開催日	令和7年7月25日（金）	場 所	中央公民館 第一会議室
時 間	午前10時00分から午前11時15分		
出席者	委 員：鬼塚信弘委員、鹿島良行委員、小林拓真委員、深山宏樹委員、 中村朝彰委員、森浩文委員、神谷啓子委員、鳥海博之委員、 阿部厚司委員、渡邊孝雄委員(代理：須貝氏)、 伊藤貴夫委員(代理：岩田氏)、井上勇委員、住澤悠太委員、 品川昭和委員、鈴木和代委員、大岩房之委員、寺田巧実委員 田中副市長 事務局(都市整備部土木課)： 新井課長、高田係長、嶋埜主任技師、田中主査、伊藤技師 委託業者：株式会社サンワコン 安野氏、品川氏		
議 題	(1) 開会 (2) 副市長あいさつ (3) 委員及び事務局の自己紹介 (4) 議事 ① 委員長・副委員長の選出 ② 自転車ネットワーク計画、自転車活用推進計画について ③ 策定スケジュールについて ④ 自転車利用に関するアンケート調査(案)の内容について (5) その他 (6) 閉会		
公開・非公開の別	全て公開		
傍聴者数	0名		
配付資料	次第、委員名簿、席次表 資料1：自転車ネットワーク計画、自転車活用推進計画について 資料2：策定スケジュール及び委員会の議題について(案) 資料3：自転車利用に関するアンケート調査(案)の内容について		
会議概要	別紙のとおり		

【会議の概要】

○事務局(高田)

本日はお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。本日の司会を務める土木課の高田と申します。よろしくお願いします。

1 委嘱状交付式

○事務局(高田)

それでは、ただいまより木更津市自転車活用推進委員会の委嘱状交付式を行います。

【田中副市長より委嘱状交付】

○事務局(高田)

ただいまの16名の委員のほか、小湊鉄道株式会社の深山委員は、交通渋滞のため遅れての参加となります。

続いて、事務局から2点連絡があります。1点目ですが、配布した会議資料の確認をお願いいたします。1枚目が次第、次に委員名簿、次に席次表で、その後、資料1から資料3までとなっています。以上ですが、過不足はございませんか。

2点目ですが、議事をお諮りする方法として、挙手で決を採る形にしたいので、よろしくお願いします。事務局からの連絡は以上です。

2 第1回木更津市自転車活用推進委員会

(1) 開会

○事務局(高田)

それではただ今より令和7年度第1回木更津市自転車活用推進委員会を開会します。

本日の出席人数は代理の方を除き17名中14名であり、「附属機関設置条例第6条第2項」に規定される半数以上の出席を得ており、会議は成立します。また、本会議は「木更津市審議会等の会議の公開に関する条例第3条及び第9条」の規定により、会議は公開で行い、会議記録および会議資料を公開するため、会議を録音しますのでご了承ください。

なお、本日の傍聴希望者はおりません。

それでは開会にあたり、田中副市長からご挨拶をいただきたいと思います。

(2) 副市長あいさつ

○田中副市長

本日はお忙しい中、第1回木更津市自転車活用推進委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。先ほど委嘱状を交付させていただきましたが、委員として就任いただきました皆さまには、快くお引き受けいただきましたこと、心より御礼を申し上げます。

さて、本市では、自転車活用推進法に基づき、地域の実情に即した自転車活用推進計画の策

定に取り組むこととなりました。近年では、自転車の活用が環境負荷の軽減、災害時の交通機能維持、さらには国民の健康増進にも寄与するものとして、社会的に大きな注目を集めています。こうした背景を踏まえ、本市の自転車活用推進計画においても、多世代が安全かつ快適に自転車を利用できる環境の整備や、環境負荷の低減にも貢献できる計画の策定を目指したいと考えています。委員の皆様にはそれぞれの見地から忌憚のないご意見、ご提言を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

【公務のため田中副市長退席】

(3) 委員及び事務局の自己紹介

○事務局(高田)

続きまして、新しい任期になりますので、委員の皆様から自己紹介をお願いします。なお、本日は、千葉国道事務所渡邊交通対策課長の代理として須貝係長に、また、君津土木事務所の伊藤調整課長の代理として岩田主査に出席いただいています。

○鬼塚委員

木更津工業高等専門学校の鬼塚です。よろしくお願いします。

○鹿島委員

木更津駅長の鹿島です。いろいろと関係していくと思いますのでよろしくお願いします。

○小林委員

日東交通株式会社の小林です。木更津市でバスを運行しています。よろしくお願いします。

○中村委員

木更津市 PTA 連絡協議会の中村です。西清小学校の PTA 会長をしています。よろしくお願いします。

○森委員

千葉県サイクリング協会の森です。25 年くらい前に自転車通勤になって自転車にはまり、今、いろんな自転車のイベントを企画運営しています。いろいろとイベントや企画をしておりますので、貢献させていただければと思います。

○神谷委員

木更津市観光協会の神谷です。観光協会はスパークルシティ 1 階の観光案内所とたちより館の方でイベントを行っています。観光と関連して協力できればと考えています。よろしくお願いします。

○鳥海委員

公募の市民代表として参加させていただく鳥海です。保険代理業をしています。自宅は高柳地区で、岩根中学校の PTA 会長をしています。中学生は自転車利用が多く、そういった観点から協力できればと思います。

○阿部委員

私も市民代表として参加させていただく阿部です。千葉大学の方で地方創生関係に関わっています。よろしくお願いします。

○渡邊委員(代理：須貝氏)

千葉国道事務所の渡邊交通対策課長の代理の須貝です。よろしくお願いします。

○伊藤委員(代理：岩田氏)

君津土木事務所の伊藤調整課長の代理の岩田です。よろしくお願いします。

○井上委員

千葉県木更津港湾事務所施設管理課長の井上です。港湾事務所としては木更津市では潮浜公園、新港公園を整備しています。今回の自転車利用促進に公園の活用面で協力したいと思いますのでよろしくお願いします。

○住澤委員

木更津警察署交通課長の住澤です。交通安全の観点から協力して行きたいと思います。よろしくお願いします。

○品川委員

木更津市企画部長の品川です。本市は地域の活性化やオーガニックなまちづくりを進めており、自転車の活用を推進していきたいので、よろしくお願いします。

○鈴木委員

木更津市市民協働部長の鈴木です。市民協働部では自転車駐輪場を担当しています。よろしくお願いします。

○大岩委員

木更津市経済部長の大岩です。昨年度、ここに阿部委員もおられますが、第 3 期の観光振興計画を策定し、今年から実行しています。計画の中では 18 の事業があり、MICE やインバウンド誘致に加え、サイクルツーリズムの推進も掲げています。アクションプランのヒントになることを期待しています。どうぞよろしくお願いします。

○寺田委員

木更津市都市整備部長の寺田です。私は県の職員で4月にこちらに着任しました。木更津市については必ずしも熟知しているわけではありませんが、皆様から多方面のご意見をいただき、良い自転車活用推進計画をつくっていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

○事務局(高田)

委員の皆様ありがとうございました。続いて事務局を紹介します。

【以降、事務局、委託業者の紹介】

(4) 議事

○事務局(高田)

続きまして議事に入ります。今年度第1回目の委員会ですので、議長が決まるまでの間の仮議長を選出したいと思います。皆様がよろしければ寺田委員を仮議長として、進めたいと思いますが、承認いただける方は挙手をお願いします。

全員賛成のため、寺田委員に仮議長を務めていただきます。寺田委員よろしくお願いします。

議事① 委員長・副委員長の選出

○寺田仮議長

それでは正副委員長が選出されるまでの間、私が仮議長を務めるのでよろしくお願いします。
それでは議事①「委員長・副委員長の選出」について、事務局より説明をお願いします。

○事務局(高田)

本委員会の議長ですが、「附属機関設置条例第6条第1項」の規定により、委員長が議長となることとなっており、副委員長は委員長の職務を代行すると規定されております。また、「同条例第4条第1項」の規定により、委員長および副委員長は、委員の互選によってこれを定めることとなっております。

委員長・副委員長の選出についていかがいたしましょうか。

○中村委員

委員長・副委員長ともに事務局の案があればお願いします。

○事務局(高田)

それでは事務局から提案させていただきます。委員長には近隣市の自転車活用推進委員会で委員長を務めたご経験のある鬼塚委員を、副委員長には千葉大学の特任専門員として、千葉県内のサイクルツーリズム推進事業に携われた経験をお持ちの阿部委員を推薦させていただきます。

○寺田仮議長

ただ今、事務局から委員長を鬼塚委員に、副委員長を阿部委員に推薦したいと提案がありましたが、ご承認いただける方は挙手をお願いします。

全員賛成で承認いただけたので、委員長に鬼塚委員を、副委員長に阿部委員を選出いたします。お二方にはご多忙の折まことに恐縮ですが、どうぞよろしくお願いします。

それでは、委員長、副委員長にあいさつをお願いします。

○鬼塚委員長

ただ今、委員長に選出された鬼塚です。皆様どうぞよろしくお願い致します。副委員長の阿部委員もどうぞよろしくお願いします。

○阿部副委員長

副委員長に選出された阿部です。委員会がスムーズに進行するよう、委員長をサポートして行きたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

○寺田仮議長

それでは、委員長・副委員長が選出されましたので、仮議長の職を解かせていただきます。

議事進行に協力いただき、ありがとうございました。

それでは、鬼塚委員長、議長をお願いします。

議事② 自転車ネットワーク計画、自転車活用推進計画について

○鬼塚委員長

それでは議長を務めさせていただきます。会が円滑に進むよう皆様の協力をお願いします。

議事②「自転車ネットワーク計画、自転車活用推進計画について」、事務局より説明をお願いします。

○委託業者(安野)

【「資料1 木更津市自転車活用推進計画・自転車ネットワーク計画について」を説明】

資料1をご覧ください。木更津市自転車活用推進計画・自転車ネットワーク計画についてです。はじめに、自転車活用推進に関する国や県の主な動向を整理しております。平成19年の自転車安全利用五則から始まり、自転車関連の事故が増えてきた中で道路交通法改正等が行われてきました。近年では、平成29年に自転車活用推進法が施行され、都道府県、市区町村における自転車活用推進計画の策定が努力義務化されました。国の方では、平成30年に第1次推進計画、令和3年に第2次推進計画を閣議決定しています。その後も自転車関連の事故が増大していることを踏まえ、様々な規制強化を行っているところで、来年4月からは自転車の交通違反に対して青切符が導入されます。千葉県内におきましては、令和2年に第1次計画を作成し、現在は第2次計画を推進しているところです。

資料2ページをご覧ください。自転車活用推進法について説明します。自転車は二酸化炭素

を発生せず災害時において機動的、自転車依存の低減により健康増進や交通混雑の緩和等経済的・社会的な効果、交通体系における自転車による交通の役割の拡大、交通安全の確保という基本理念に基づいて、自転車の活用を総合的かつ計画的に推進することを目的としています。自転車ネットワーク計画につきましては、安全で快適な自転車利用環境の将来像にに応じて、自転車ネットワークを計画的かつ継続的に創出するため、面的な自転車ネットワーク路線を設定し、その路線の整備形態等を示す計画となります。

資料 3 ページ目は、国の自転車活用推進計画を紹介しております。自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成、サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現、サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現、自転車事故のない安全で安心な社会の実現の 4 つの目標を設定し、22 の施策を定めています。

資料 4 ページは、千葉県の計画を掲載しております。国の推進計画に基づきつつ、自転車の役割拡大に向けた人と環境に優しい自転車環境づくり、自転車利用の普及拡大による活力ある健康長寿社会の実現、自転車を活用した観光の活性化と交流基盤の確立、自転車事故のない安全・安心な社会の実現という 4 つの目標に基づき、18 の施策を定めています。

資料 5 ページは、木更津市が目指すオーガニックなまちづくりを紹介しております。平成 28 年にオーガニックなまちづくり条例を施行し、地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする人を育む、自然と共に発展する持続可能なまちの基盤を整備する、多様なあり方を認め合い、支え合う、自立した地域社会の仕組みを構築するという 3 つの基本理念に基づいて、地域一体となって持続可能なまちづくりに取り組んでいます。令和 6 年には、第 3 期アクションプランを策定し、経済・環境・社会の三側面の自立的好循環を生み出すことを目指しています。環境の項目において、自転車関連の取組みとして、エコ通勤の推進、サイクルツーリズムの推進が位置づけられています。

資料 6 ページをご覧ください。木更津市自転車活用推進計画・自転車ネットワーク計画策定の目的を整理しております。基本的には国や県の計画を踏まえつつ、本市の特徴であるオーガニックなまちづくりを反映していくことが基本的なスタンスになります。国や県の計画でも目標として定めている都市環境、健康、観光、安全・安心の 4 つの目標を設定し、木更津市の地形的条件や地域特性を踏まえた木更津市ならではの取組みを実施することで、自転車利用における安全性、利便性、快適性の総合的な向上を図ることを目的とします。具体的な取組としては、都市環境では、自転車走行空間を含めた道路整備、シェアサイクル、駐輪場整備、ゼロカーボンシティなどが想定されます。健康では、健康づくり、エコ通勤・通学、サイクルスポーツなどが想定されます。観光では、サイクルツーリズム、地形的な条件を踏まえたサイクルトレインやバス、近隣市との連携強化、地域産業との連携強化などが想定されます。安全・安心では、自転車と歩行者の安全確保、安全教育や意識啓発、安全点検や保険加入、災害の自転車利用などが想定されます。こういった取組みを通じて、市民の健康増進や地域の活性化、環境負荷の低減を図り、本市が目指すオーガニックシティの実現につなげていくことを考えています。

自転車ネットワーク計画につきましては、自転車活用推進計画に基づいて、安全で快適な自転車通行空間を効果的、効率的に整備することを目的に、ネットワーク路線を設定し、それぞれの路線の特徴に応じた整備形態を示していきたいと考えています。

資料 7 ページからは、参考資料として、木更津市においてこれまで取組んできた自転車関連施策を 4 つの目標に基づいて整理しております。

資料 8 ページの下段には、現在の自転車ネットワーク計画を記載しています。ネットワーク路線として、木更津駅から西に延びる富士見通りを設定し、現在工事が行われています。

資料 9 ページからは、基礎データを簡単に整理しております。レンタサイクルは、令和 4 年までは 650 台前後で推移しており、令和 5 年に金田地域交流センターでの貸出が終了し、現在は 400 から 500 台程度で推移していますが、多くは観光案内所での貸出になっています。下段はヘルメット購入補助の申請件数の推移です。令和 6 年 10 月からスタートして 8 ヶ月経ちますが、延べ 420 件の申請があり、計 490 個の購入補助を行っています。

資料 10 ページ以降につきましては、サイクリングコースとしてホームページで掲載されている 7 コース、房総半島サイクリングコースガイド、サイクルボールの取組を紹介しています。以上で資料の説明を終わります。

○鬼塚委員長

ただ今説明があったことについて、何か質問、意見があれば挙手をお願いします。

無いようですので、次の議事③「策定スケジュールについて」、事務局より説明をお願いします。

議事③ 策定スケジュールについて

○委託業者(安野)

【「資料 2 策定スケジュールについて」を説明】

資料 2 をご覧ください。策定スケジュール及び委員会の議題についてです。令和 7 年度中の計画策定を想定している中でのスケジュールとなっております。

まずは、本日の委員会を踏まえまして、アンケート調査を実施していきたいと思います。この委員会につきましては 4 回を想定しており、本日 7 月 25 日が第 1 回、第 2 回につきましては 9 月下旬頃を想定し、第 3 回で自転車活用推進計画の素案をご提示し、パブリックコメントを経て、第 4 回が最終回という流れで計画を策定していきたいと考えております。

説明は以上です。

○鬼塚委員長

ただ今説明があったことについて、何か質問、意見があれば挙手をお願いします。

無いようですので、次の議事④「自転車利用に関するアンケート調査(案)の内容について」、事務局より説明をお願いします。

議事④ 自転車利用に関するアンケート調査(案)の内容について

○委託業者(安野)

【「資料 3 自転車利用に関するアンケート調査(案)の内容について」を説明】

資料 3 をご覧ください。自転車利用に関するアンケート調査の内容についてです。

1 ページ目は調査の概要です。調査の目的は、自転車活用推進計画・自転車ネットワーク計画の策定にあたり、市民の自転車利用に対する意識やニーズを把握し、計画の基本方針や施策の立案、策定に向けた基礎資料とすることを目的としております。調査の対象としては、無作為に抽出した市民の方 2,000 名と、木更津高校の生徒さんを考えております。調査方法につきましては、市民の方につきましては郵送による発送・回収で、回収については Google ホームを利用してスマホやインターネットを使った回答ができるようにしたいと思います。高校生につきましては、タブレットを利用した回答を想定しています。調査の時期としては、本日、アンケートの内容についてお諮りし、8 月から 9 月の間での実施を予定しています。調査票につきましては、一般向けと高校生向けで基本は同じと考えておりますが、自転車の使い方の前提が異なると認識しておりますので、一部、質問を変えているところがあります。

それでは、一般向けのアンケートの方から説明します。大項目、質問、選択肢という順で整理しております。まずはご自身についてで、性別、年代、お住まいの地区、普段もっとも利用する交通手段を把握します。次に自転車の利用状況として、自転車の利用頻度、自転車を使われる方に対しては自転車を利用する理由、目的、自転車の種類、普段の 1 回の片道の利用時間を確認します。一方、自転車を利用しない方に対しては、利用しない理由を把握する質問を設定しています。3 番目は自転車の利用環境で、まず自転車どこを走るか、法的には自転車は車道を走るのが基本ですが、実際にどこを走行しているのかを把握します。次は自転車に乗る時の行動で、基本的にダメな行動ばかりですが、実際にどうなのかというところを把握します。次に自転車に乗っていて危険を感じたことがあるか、ある場合には、どういった時に危険を感じたかを、歩道通行時と車道通行時に分けて把握します。それらを踏まえて、自転車利用の課題や自転車走行空間の満足度を聞いています。自転車走行空間の満足度は、数値目標の設定に使えないかと考えております。4 番目は自転車の安全対策で、法改正の認知がどれだけ進んでいるか、自転車保険加入の有無、ヘルメットの所持と使用の有無、自転車に乗る前の日常的な点検実施の有無について、意識づけも含めて質問しています。最後 5 番目で、必要な自転車関連の施策・支援等としてどういったことが考えられかを、先ほど説明しました環境づくり、健康長寿、観光振興、安全安心の 4 つの目標に基づいて選択肢を設定しております。例えば、健康長寿では自転車通勤を更に促進する、観光振興では関係市町と連携した広域的なサイクリングとか、東西に長い地域や坂道もある中でサイクルトレインやサイクルバスが必要ではないか、また、そういったニーズがあるかどうかという把握も含めて質問したいと考えます。次に、レンタサイクルの利用の有無と目的、最後に、今後どういう目的であれば自転車利用に転換できるかという意識行動を促す質問を設定しています。

7 ページからは高校生向けとなっております。まずご自身についてで、性別、住んでいる場所は、市内だけでなく市外・県外も想定した選択肢としています。自転車の利用状況につきましては、通学時の交通手段、自転車で通学時の片道の利用時間、通学以外での自転車の利用目的、自転車走行空間の満足度を聞いています。自転車どこを走るか、自転車に乗る時の行動は一般向けと同じです。自転車に乗っていて危険を感じたことも一般向けと同じですが、高校生向けということで選択肢を少し平易にしています。自転車で危険を感じる場所については、高校生が自転車に乗る頻度が一番高いだろうという想定で、危険だと感じている場所が多分あ

るのではないかと考え、具体的に記述していただく形にしています。自転車利用の安全対策も一般向けと同じですが、高校生だけの質問として、ヘルメット着用に対する抵抗感の有無と理由を聞いています。自転車の施策についても一般向けと基本同じですが、高校生特有として、街灯の整備とかヘルメット着用の義務化、高校生の知恵をお借りした形でのオリジナルデザインの考案のような選択肢を設けています。

アンケート調査につきましては以上となります。

○鬼塚委員長

ただ今説明があったことについて、何か質問、意見があれば挙手をお願いします。

○中村委員

一点、確認ですが、調査対象が市民 2,000 名というのは分かりますが、高校生はなぜ木更津高校の生徒だけに絞ったのか、理由を教えてください。

○事務局(高田)

アンケート調査をなぜ木更津高校に依頼するかについて、木更津高校は木更津市と連携して、SDGs に向けた科学的な取り組み案を市に提供することを目的として、探究活動を行っています。約 6, 7 名の班で農業、防災、環境保全、エネルギー、食育のテーマに基づいて、木更津市への事業案の提案を目標に調査研究に取り組んでいます。その中で、今年も探究活動として自転車をテーマにしている班も複数あると聞いており、木更津高校生と一緒に、市の自転車活用に取り組んでいきたいと考えています。

○鳥海委員

アンケート調査は市民 2,000 名と木更津高校の生徒ということですが、私には中学校の息子がおりますが、中学生をアンケート調査の対象にするという考えはありませんか。

○事務局(高田)

中学生も自転車を非常に頻繁に使うと思いますので、中学生もアンケート調査対象に含めたいと思います。ただし、今は夏休みの時期であり、アンケート調査の実施については時間的な制約もあり、中学校を一校に絞って、計画策定のスケジュールに間に合うようにしたいと思っています。私の考えですが、太田中学校が、木更津市内の中学生の約 20%が通学しており、一番生徒数の多い中学校で、広い校区特性ということもあり、自転車通学も非常に多いです。以上から、より効率的なデータの取得が可能だと思いますので、太田中学校の方に依頼をかけたいと思っていますが、いかがでしょうか。

○阿部副委員長

木更津高校の件について補足させていただきます。私、昨年度に木更津高校で探究の仕方について講師をさせていただいていた関係で、探究授業を存じ上げており、おそらく、11月に全

部のグループの発表があり、報告が聞けると思います。生徒達は木更津市に何か貢献したいという考えの下、すごく意欲的にテーマを検討していますので、成果を期待したいと思います。

アンケート項目について、集計の手間がかかるのでなかなか難しいと思いますが、可能であれば、大項目ごとに自由回答があると、回答者も掘り下げた意見が書けると思います。ただ集計の大変さと天秤にかけるのか、気になったところです。

それと細かなところですが、具体的には、「一般向け」の「4. 自転車利用の安全対策について」の、特に「①法改正の認知度」、これは非常に重要だと思うので、例えばここは網掛けや着色して、目立つような形にして、重点项目的にインプットした方が、市民への啓蒙活動的にも良いのではないかと思います。

また、5 ページ目の「④自転車乗車用ヘルメット購入補助金の認知度」も、すごく良い取り組みであると思うので、例えばこの周辺にウェブページ先をリンクするとか、啓蒙活動に使えるような仕組みができると良いと思いました。

また、同じ観点で、6 ページ目のレンタサイクルについても、利用したことがある、なしということもありますが、知らないということもあります。ここはせっかくですので、「レンタサイクルが木更津駅前にありますが使ったことがありますか？」や、「木更津市内に 2 つレンタサイクルの場所がありますが、ご存知ですか？」など、PR も含めてアンケート調査を実施できると、より深いリターンがあるのではないかと思います。

それと、集計の数やスペースの問題はあると思いますが、8 ページ目の高校生向けアンケートでは「④ヘルメット着用に対する抵抗」が挙げられていますが、これは一般の人にも非常に重要なことだと思うので、「一般向け」にも追加した方が良いのではないかと感じました。

○鬼塚委員長

こちらについて事務局として何かありますか。

○委託業者(安野)

基本的には今のご意見を反映していきたいと思います。大項目ごとに自由意見を記載する件については事務局内で検討させていただきたいと思いますが、質問の聞き方も含めて、調整をさせていただきたいと思います。その他、法改正やヘルメット着用、レンタサイクル等、だけでなく、ご指摘のように PR や意識付けを兼ねてアンケートするということが大事だと思います。そのように対応させていただきたいと思います。

○鬼塚委員長

それでよろしいでしょうか。他にどうでしょうか。

○神谷委員

アンケートですが、市民 2,000 名に郵送ということですが、ホームページ等他の手段での意見募集の予定はありませんか。

○事務局(高田)

木更津市には誰でも解答できるようなシステムがあるので、そちらを利用することも進めていきたいと思います。

○鬼塚委員長

それでよろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。

それでは私から 1 つ、中学生もアンケート対象とするならば、調査項目に関して、現時点で高校生向けとは違う点があれば、教えてください。

○事務局(高田)

先ほどの副委員長がおっしゃったところを踏まえながら、できれば、中学生についても高校生と同じ内容で意見を聞きたいと思っています。そこで中学生と高校生の考え方の違いが浮き彫りになると思いますので、可能であれば高校生と同様のアンケートで意見を収集したいと思います。

○鬼塚委員長

わかりました。他にいかがでしょうか。

○大岩委員

アンケートの項目で、例えば 5、8 ページの「5. 自転車施策について」等で、全部必要であれば全部にチェックするようになるのでしょうか。よく複数回答の場合では、主なもののいくつかをチェックするというのが多いと思います。

加えて、このようなアンケートについて、有効となる回収率というのはどれぐらいなのか教えてください。

○事務局(高田)

アンケートの回答については、選択肢を多くすることでいろいろな意見が収集できると思うので、複数回答ができるように努めたいと思います。

○大岩委員

そうであるならば、複数回答でも問題ない旨を記載することが適切だと思います。

○委託業者(安野)

回収率ですが、統計学的には 400～500 票程度回収できれば分析に有効と考えられます。アンケートの回収率としては、いろんなケースがありますが、2、3 割が一般的とされております。今回は意識啓発を兼ねる点もあり、計画を作る上で重要になってきますので、今回はウェブでも回答する方法をとって、なるべく多くの方に回答していただけるよう、工夫して行きたいと考えています。

○鬼塚委員長

他にいかがでしょうか。

無いようなので、議事④「自転車利用に関するアンケート調査(案)の内容について」は終了します。

以上で本日の議事については全て終了しました。円滑な進行に協力いただきありがとうございました。

それでは進行を司会にお渡しします。

(5) その他

○事務局(高田)

鬼塚委員長、ありがとうございました。

それでは、次第(5)その他について、事務局から1点ご連絡があります。次回の会議の日程ですが、現在のところ9月下旬、または10月頃を予定しております。詳細な日程については、後日皆様に連絡させていただきますので、よろしくお願いします。

事務局からは以上ですが、その他、皆様から何かございますか。

○阿部副委員長

補足で、アンケートに「きさポン」が載っていると親近感が湧くと思うので、アンケートに使用していただきたいと思います。

○事務局(高田)

そのようにさせていただきます。

(6) 閉会

○事務局(高田)

その他ご意見等ございませんか。

無いようですので、以上で令和7年度第1回木更津市自転車活用推進委員会を閉会いたします。委員の皆様、本日はお忙しい中ご出席いただき、貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

○事務局(高田)

すみません。最後になりましたが、遅れて参加いただいた深山委員を紹介いたします。

○深山委員

本日は遅れて申し訳ありませんでした。小湊鐵道株式会社バスサービス部の深山です。今後ともよろしくお願いします。

○事務局(高田)

以上です。ありがとうございました。

第1回木更津市自転車活用推進委員会の内容について、上記のとおり確認する。

令和7年8月20日

木更津市自転車活用推進委員会委員長 鬼塚 信弘